

松戸市総合計画 第5次実施計画

(素案)

平成26年1月6日現在
松戸市

(担当課：政策推進課)

目次

第1章 総合計画の概要

- 1. 計画策定の背景…………… P. 2
- 2. 計画の構成と期間…………… P. 2
- 3. 基本構想の理念・将来像…………… P. 3
- 4. 後期基本計画…………… P. 3

第2章 第5次実施計画の概要

- 1. 計画期間と計画人口…………… P. 6
- 2. 計画期間における事業費と財政見通し…………… P. 7
- 3. 計画書の見方…………… P. 8

第3章 計画事業

政策展開の方向

- 1. 連携型地域社会の形成…………… P. 10
- 2. 豊かな人生を支える福祉社会の実現…………… P. 16
- 3. 次代を育む文化・教育環境の創造…………… P. 28
- 4. 安全で快適な生活環境の実現…………… P. 38
- 5. 魅力ある都市空間の形成と産業の振興…………… P. 51
- 6. 都市経営の視点に立った行財政運営…………… P. 66

第1章 総合計画の概要

第1節 計画策定の背景

松戸市では、平成10年（1998年）4月に、「松戸市総合計画（基本構想・基本計画・実施計画）」を策定しました。そして、これまでの成果を受け継ぎながら、少子・高齢化などの課題に的確に対応し、より豊かな市民生活の実現をめざし、「前期基本計画（計画期間：平成10年度から22年度まで）」及び第1次から第3次までの「実施計画」により、市政を推進してきました。

そして、平成23年1月に、「前期基本計画」に続く「後期基本計画（計画期間：平成23年度から32年度まで）」を策定し、「基本構想」に基づく施策の方向を示しました。

その「後期基本計画」に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏付けをもたせるため「第4次実施計画」に引き続き、「第5次実施計画」を策定します。

第2節 計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成します。

「基本構想」は、将来の本市の発展方向を展望し、21世紀の新たな時代に向けて推進すべき基本的方向を明記するもので、平成10年4月に策定されました。

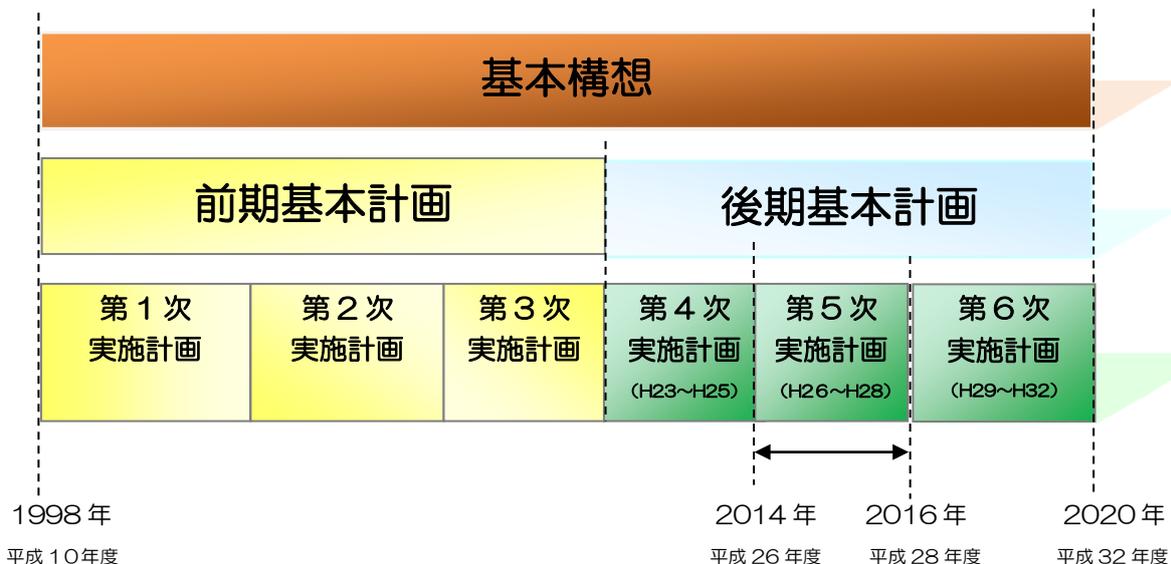
基本構想の期間は、平成10年度（1998年）から平成32年度（2020年）までの23年間です。

「基本計画」は、基本構想の実現のために必要な施策の方向を体系的に整理するものです。

後期基本計画の期間は、平成23年度（2011年）から平成32年度（2020年）までの10年間です。

「実施計画」は、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画です。

後期基本計画の期間においての実施計画は、平成23年度（2011年）から3か年ごとに策定します。



第3節 基本構想の理念・将来像

「基本構想」では、本市のまちづくりを行うにあたり、次の3つを基本理念としています。

- 1 人権が尊重されすべての人が安心して暮らせるまち
- 2 快適な環境の中で人と人が支え合う地域社会のあるまち
- 3 地球にやさしい市民の交流を支える活力と魅力あるまち

また、基本理念に基づき、西暦 2020 年（平成 32 年）の松戸市の将来像を

「いきいきした市民の舞台」

「こちよ地域舞台」

「風格ある都市の舞台」

のあるまち・松戸 と設定しています。

そして、「次代を担う子どもたちのふるさと・緑花清流による松戸の創生」を合言葉に、市民・事業者・行政が一体となり、真の豊かさを感じることができる3つの舞台が調和した松戸「住んでよいまち・訪ねてよいまち」をめざしています。

第4節 後期基本計画

「後期基本計画」では、基本構想の実現を図るために、リーディングプランを定めるとともに、必要な施策の方向を体系的に整理しています。

1. リーディングプラン

リーディングプランは、本市の将来像である「いきいきした市民の舞台、こちよ地域舞台、風格ある都市の舞台のあるまち・松戸」について、その未来像に到達するためのプランを提示するものです。

	将来像	めざしたい未来像	リーディングプラン	重点施策
1	いきいきした市民の舞台	自分たちのまちは自分たちでつくる元気な街	(1) 市民参加・社会参加促進プラン	① 地域の問題は、地域で解決する仕組みづくりを進めます ② ボランティア活動をはじめ公共の場に参加しやすくするため、「人づくり」のための仕組みをつくります ③ NPO 活動・ボランティア活動を支援する場を広めるなど協働のまちづくりを強化します ④ コミュニティビジネスや NPO などを活性化し、元気な高齢者が活躍できる場をつくります ⑤ 起業をめざす人への支援を強化します ⑥ 社会的雇用弱者（再就職を希望する高齢者・女性、就労経験の少ない若者、就労を希望する障害者など）を中心に就労支援を強化します

	将来像	めざしたい 未来像	リーディング プラン	重点施策
2	こちよ い地域の 舞台	住んでい るのが誇 らしく思 える街	(2) 魅力ある 子育て・ 教育創造 プラン	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもを生み、育てるなら松戸と思われるように、子育て支援や教育などの各種施策を推進します ② 将来の市民を育てるという視点から確かな学力と豊かな人間性を育む教育を進めます ③ 各学校のカリキュラム開発を強力に支援し、「ヤル気になればデキル」から「デキルからヤル気になる」よう学習活動の転換を図り、児童生徒の自ら学び自ら考える力を育成し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させます
			(3) 松戸の住 みやすさ 再生プラ ン	<ul style="list-style-type: none"> ① 都市計画制度の状況を分析し、魅力ある市街地の形成を進めます ② UR 都市機構などの集合住宅のある街について、若者と高齢者などあらゆる層が交流できる活気あるまちづくりに向けて検討します ③ 市民芸術の発信など文化芸術による地域のまちづくりを支援します ④ 高齢者が住み慣れた街で安心して暮らせるように、身近な問題を地域のみんなで解決できるまちづくりを進めます ⑤ 市立病院を整備し、民間医療機関との連携を強め、医療を必要とする人が安心できるまちづくりを進めます ⑥ 警防ネットワークなどの強化により、日常的に人と人のつながりがある「地域防災・防犯体制」づくりを進めます ⑦ 公共施設の状況を明らかにし、今後の再編整備に向けて検討します
3	風格ある 都市の舞 台	みんなの 協力で賑 わいのあ る街	(4) 地域産業 活性化プラ ン	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内の交通結節点である主要駅を中心に、民間活力を活かした魅力アップを図り、市内からも市外からも購買力のある人々が集まる賑わいを創造します ② 松戸の新しい都市ブランドを構築し、若者が住みたくなるモデル都市を検討します ③ 地元商店街が地域のまちづくりの一翼を担うよう商店街の活性化を図ります ④ 松戸駅の改造をきっかけとした松戸駅周辺の活性化を促進します ⑤ 今後の社会経済環境を勘案しながら工業団地のあり方を検討します
			(5) 行財政健 全・安定 化プラン	<ul style="list-style-type: none"> ① 実施計画を選択と集中を明確にした戦略計画として、中期的な財政状況を明らかにし、事業の見直しを進め、財政の健全化を図ります ② 政策立案過程の情報も含め、市政情報の「見える化」を進めます ③ 市、外郭団体が保有する資産の実態を明らかにし、資産管理の適正化と効率化を図ります

2. 政策展開の方向

政策展開の方向は、必要な施策を体系的に整理したものです。

節	項（政策）
第1節 連携型地域社会の形成	第1項（政策1） 市民と行政の協働を推進します
	第2項（政策2） 一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります
	第3項（政策3） 男女共同参画の地域社会をつくります
第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現	第1項（政策4） 健康に暮らすことができるようにします
	第2項（政策5） 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします
	第3項（政策6） 安心して子どもを産み、健やかに育てることができるようにします
	第4項（政策7） 市立病院として高度で良質な医療を提供します
第3節 次代を育む文化・教育環境の創造	第1項（政策8） 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします
	第2項（政策9） 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします
	第3項（政策10） 国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします
第4節 安全で快適な生活環境の実現	第1項（政策11） 災害に対する不安を減らすようにします
	第2項（政策12） 火災等の災害から市民生活を守ります
	第3項（政策13） 救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます
	第4項（政策14） 環境にやさしい地域社会をつくります
	第5項（政策15） 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります
	第6項（政策16） 緑と花に親しむことができるようにします
第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興	第1項（政策17） 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします
	第2項（政策18） 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにします
	第3項（政策19） ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします
	第4項（政策20） 誰もが安心してスムーズに移動できるようにします
	第5項（政策21） 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします
	第6項（政策22） いつでも安心して水道水が使えるようにします
第6節 都市経営の視点に立った行財政運営	第1項（政策23） 市民ニーズに基づく行政経営を行います
	第2項（政策24） 財源、財産を適正に管理し、配分します

第2章 第5次実施計画の概要

第1節 計画期間と計画人口

1. 計画期間

平成26年度から28年度までの3年間とします。

2. 計画人口

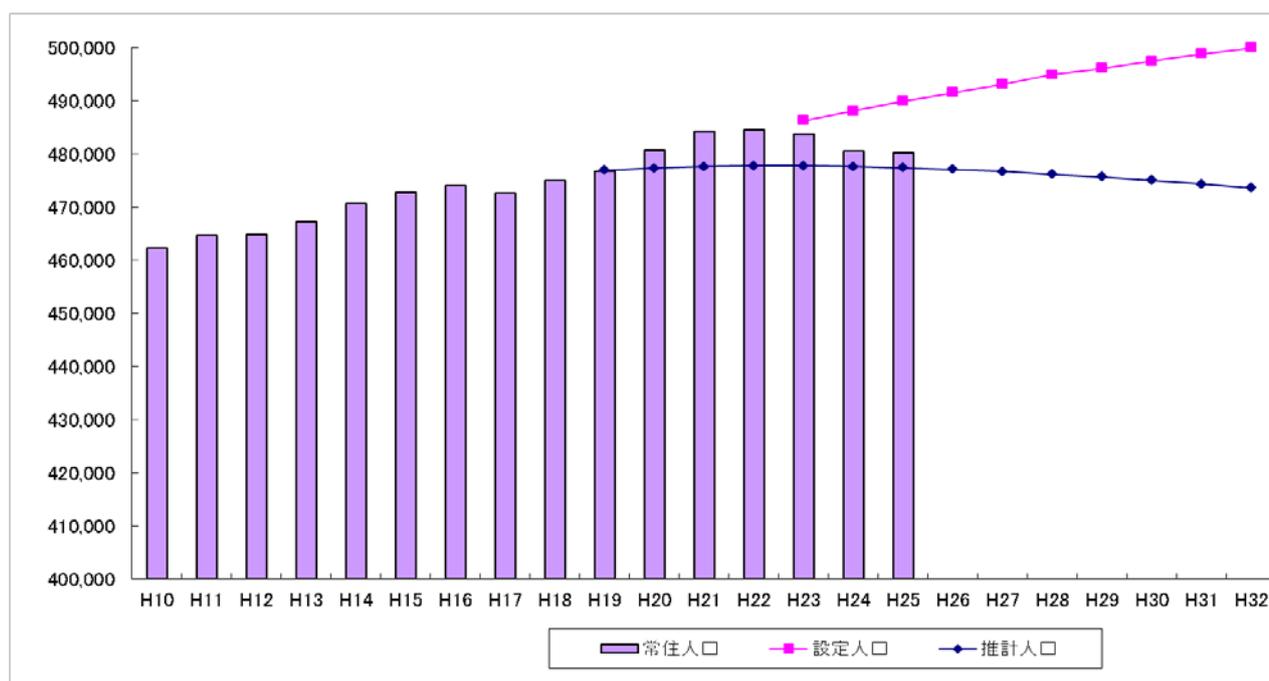
第5次実施計画の目標年次である平成28年度の人口を49万5千人と設定します。

(単位：人、各年10月1日)

	前期基本計画			後期基本計画		
	第1次 実施計画 (平成14年)	第2次 実施計画 (平成19年)	第3次 実施計画 (平成22年)	第4次 実施計画 (平成25年)	第5次 実施計画 (平成28年)	第6次 実施計画 (平成32年)
設定人口	461,000	478,000	480,000	490,000	495,000	500,000
(14歳以下比)				12.0%	11.0%	9.8%
(15-64歳比)				65.8%	64.6%	64.6%
(65歳以上比)				22.2%	24.4%	25.6%
上段：実績	470,759	476,792	484,457	480,227		
下段：推計			477,830	477,421	476,182	473,615

- ・ 設定人口の年齢3区分による構成比は、参考です。
- ・ 推計人口については、平成21年1月実施の人口推計のうち、現実型の推計値（住民基本台帳人口と外国人登録人口の合計）を平成19年の乖離をもとに常住人口に換算しています。
- ・ 推計と設定人口との差は、子育て世代の定住促進などによる人口増を見込んでいます。

図表 人口の推移、推計



第 2 節 計画期間における事業費と財政見通し

(調整中)

第3節 計画書の見方

1. 政策展開の方向

後期基本計画に定める政策展開の方向について、施策ごとに、体系的に取り組むべき課題、めざす成果、目標、事業費を整理しています。

第〇節 ○○○○ ————— 基本構想に定める「施策の大綱」の名称

第〇項（政策〇） ○○○○ ————— 後期基本計画に定める「政策展開の方向」の名称

めざしたい将来像
 ○○○○ ————— 後期基本計画に定める「政策展開の方向」についてのめざしたい将来像

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
○○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○

後期基本計画に定める「めざそう値」の指標、実績値、現状値

平成 24 年度の現状値などを踏まえ設定しています。

後期基本計画で定める終了時点での「めざそう値」

◆○○○○

施策の名称

◇○○○○

基本事務事業の名称

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	26	
					27	
					28	
	【△△△】				計	

計画期間内に施策の展開にそ
って、優先的に取組むべき課
題です。
【】内は、課題に取組む担当
組織名です。

課題に取組むこと
で実現したい状態
です。

成果達成を
判断する代表
的な目標です。

取組み課題に関連
する事務事業・業務
の名称です。

事業費については、現在
調整中につき、空白とな
っています。

第3章 計画事業

政策展開の方向

第1節 連携型地域社会の形成

第1項（政策1） 市民と行政の協働を推進します

めざしたい将来像

「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進し、安全・安心な豊かで、活力のある郷土愛に満ち、市民みんなが誇りに思える”ふるさとまつど”を実現します。そのため、支所など地域拠点の機能を高め、市民同士、市民と行政、行政組織同士などの連携を進めます。また、地域活動（町会・自治会活動、地区社会福祉協議会の活動）、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化を図ります。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
市民活動（地域活動、NPO活動、ボランティア活動など）に参加している人の割合	27.1%	33.9%	26.0%	30.8%	35%	40%
市が協働する事業件数	—	—	169件 (19年度)	—	200件	250件
NPO法人の数	26団体	111団体	114団体	144団体	150団体	150団体
中間支援分野で活動している団体の割合	—	—	8.1%	8.1%	15%	25%

◆地域に根ざした協働の基盤づくりを推進します

◇ 地域の活動基盤を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
1	市民センターの施設整備を進めます。 【市民自治課】	利用しやすい施設として整備を進め利用が促進されます。	平成 24 年度 41.3%であった市民センター利用率を上昇させます。	市民センター管理運営事業（バリアフリー化推進業務、施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
2	町会・自治会等の集会所の整備を支援します。 【市民自治課】	集会所の整備が図られます。	適正な補助を行います。	町会集会所等支援事業（集会所整備費補助金、集会所修繕費補助金）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 情報提供を行い、地域の活動を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
3	地域における連携体制の構築を図ります。 【市民自治課】	地域と市との関係性が整理されます。	市政協力委員制度を検証し、新たな制度について研究します。	地域活動活性化事業（地域連携支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	
4	地域の仕組みづくりについて検討し、モデル事業の試行を目指します。 【市民自治課】	地域の仕組みに対する理解が深まります。	地域の仕組みのモデル事業について研究・検証し、地域の活性化を図ります。	市民自治検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆協働を推進するための環境を整備します

◇ 協働のまちづくりを推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
5	市民活動団体等と連携したまちづくりを進めるため、新たな制度を検討します。 【市民自治課】	市民活動団体等との連携を推進します。	市民活動団体等との連携について、先進的な市を視察するなど研究を進めます。	協働のまちづくり推進事業（協働のまちづくり推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
6	市民活動を促進するため、市民活動に関する情報を発信するとともに、団体の自立に向けた取り組みを支援します。 【市民自治課】	市民活動を活性化させます。	平成 24 年度 95 団体であった市民活動団体登録数を増やします。	市民活動支援事業（市民活動助成金、市民活動支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策2） 一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります

めざしたい将来像

松戸に住む全ての人が互いに認め合い、多様な形でかかわりあえる「平等で人間性豊かな地域社会」を、自分たちで創り上げることをめざします。そのために、学習・交流など、様々な活動を心掛けます。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
身の回りで人権が守られていると 思っている人の割合	42.4%	41.3%	45.7%	50.5%	58.6%	60%

◆一人ひとりの人権を尊重します

◇ 人権擁護を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
7	市民の人権意識の向上を図るため、講演会等を効果的に開催します。 【行政経営課】	人権問題への対処について、市民の間で共通認識が芽生えます。	平成 24 年度 73.1%であった 人権講演会参加者 における「人権に 関する理解や監視 が深まった」人の 割合を上げます。	人権啓発推進事業	26	
					27	
					28	
					計	
8	市民の人権を守るため、人権相談をはじめとする人権擁護委員活動を支援します。 【行政経営課】	人権相談窓口の周知が行き届き、被害にあった市民がすぐに相談できます。	平成 24 年度における自治体での人権相談受付件数 173 件を増やします。	人権被害者相談事業	26	
					27	
					28	
					計	
9	職員の人権意識の向上を図るため、人権施策を総合的かつ効果的に進めます。 【行政経営課】	市役所の各部署で、人権尊重を意識した行政目標が設定され、達成されます。	平成 24 年度 52.7%であった 各課行動計画において「大きな成果が出ている」割合を上げます。	人権施策推進事業	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策3） 男女共同参画の地域社会をつくります

めざしたい将来像

男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
固定的性別役割分担を支持しない人の割合	43.4%	43.8%	43.2%	45.6%	47%	50%
女性の就業割合	54.7%	53.5%	50.3%	46.3%	57.5%	60%

◆男女共同参画のまちづくりを実現します

◇ 男女共同参画を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
10	松戸市男女共同参画プランに基づき、市民、事業者、市に対する情報提供などの啓発活動を行い、男女共同参画社会を推進します。 【男女共同参画課】	男女共同参画社会が推進されます。	平成24年度19団体であった男女共同参画推進グループ登録数を増やします。	男女共同参画支援事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

第1項（政策4） 健康に暮らすことができるようにします

めざしたい将来像

自らの健康に関心を持ち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
生きがい感を持っている人の割合	80.3%	80.7%	79.0%	76.5%	79%	80%
本人が健康であると思う人の割合	66.4%	64.3%	65.9%	66.6%	67%	70%
健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	—	—	1,044人	659人	1,100人	1,400人
ホームドクター（かかりつけ医）を持つ人の割合	—	—	56.5%	—	60.0%	65%
多様な世代と交流する機会のある人の割合	—	—	5.6%	4.5%	7%	10%

◆生きがいを持ちます

◇ 生きがい就労を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
11	シニア交流センターを活用し、高齢者の世代間交流や学習機会の場を充実します。 【高齢者支援課】	高齢者の生きがいづくりの場ができます。	平成 24 年度 10,337 人であったシニア交流センターの利用者を 15,000 人程度に増やします。	シニア交流センター管理運営事業（運営業務、施設維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	
12	介護支援ボランティア制度の普及啓発を図り、介護予防を推進します。 【高齢者支援課】	介護支援ボランティア制度に関する理解が高まり、社会参加や地域に貢献する高齢者が増えます。	平成 24 年度 169 人であった介護支援ボランティアの登録者数を毎年 400 人増やします。	介護支援ボランティア事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病気を予防し、早期に発見します

◇ 健康増進事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
13	運動による健康づくりの普及・啓発を図り、運動習慣をもつ市民が増えるよう、環境を整備します。 【健康推進課】	運動習慣をもつ市民が増加します。	平成 24 年度 1,284 人であった健康体操、生活習慣病予防教室等の受講者数を 1,400 人に増やします。	健康増進啓発事業（健康松戸 21 推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 健康診査事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
14	がん検診の実施方法や周知方法の改善に努め、がん検診を充実します。 【健康推進課】	がん検診への理解が高まり、検診を受ける人が増えます。	平成 24 年度 24.2%であったがん検診の受診率を 35%に上昇させます。	がん検診事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病気を治します

◇ 第1次、第2次救急体制を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
15	市立病院の建替えに伴い、夜間小児急病センターを整備します。 【地域医療課】	小児初期救急医療体制を継続的に維持します。	夜間小児急病センターを建設します。	夜間小児急病センター整備費負担金	26	
					27	
					28	
					計	

◆受療環境を整備します

◇ 国民健康保険を適正に運営します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
16	市民の健康意識を高めるため、健診の充実を図ります。 【国民健康保険課】	自らの健康状態が把握でき、受診率が向上します。	平成24年度健診の受診率が29.8%であったことを55%に上げます。	特定健康診査等事業（特定健康診査等業務、特定健康診査啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	
17	ジェネリック医薬品差額通知を送付するなどの普及啓発を行います。 【国民健康保険課】	ジェネリック医薬品が普及するようになり、医療費の削減につながります。	ジェネリック医薬品に変更した人の割合を増やします。	国民健康保険管理事業（管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策5） 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

めざしたい将来像

市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
日常生活に対して不安を感じていない人の割合	3.6%	4.0%	3.0%	3.5%	3%	3%
地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	—	16,827件	20,308件	24,345件	26,000件	29,000件

◆必要なときに介護が受けられます

◇ 介護予防サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
18	認知症についての普及啓発を行うなど、認知症対策を推進します。 【高齢者支援課】	認知症についての理解が高まります。	平成 24 年度 1,215 人であった認知症予防教室や講演会の参加者を 2,000 人程度に増やします。	介護予防普及啓発事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 地域で自立した生活を送れるように支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
19	障害者がワンストップで総合相談が受けられるよう、基幹相談支援センター機能の充実を図ります。 【障害福祉課】	障害者に対する相談支援が強化されます。	新規相談者数を増やします。	基幹相談支援センター等事業	26	
					27	
					28	
					計	
20	障害者の一般就労や障害者就労施設等における工賃向上の取り組みなど、障害者の就労を支援します。 【障害福祉課】	障害者の継続的な就労や、障害者就労施設等の工賃向上につながります。	平成 24 年度 53 件であった新規就労相談件数を増やします。	障害者就労支援事業（障害者就労支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆必要なときに生活の援助が受けられます

◇ 困窮時、災害者の生活を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
21	ハローワークとの連携強化、情報の共有化を図り、稼働年齢層で就労可能な被保護者に対して、効果的かつ効率的な就労支援を行います。 【生活支援一課、生活支援二課】	被保護者の割合（保護率）が減少し、生活保護費の削減にもつながります。	平成 24 年度 54 5人だった就労支援プログラム実施者数を大幅に増やします。	生活保護決定・実施事業（ケースワーク業務）	26	
					27	
					28	
					計	
22	生活保護の適正な実施を図るため、専従チームを組織し、不正受給防止対策を強化します。 【生活支援一課、生活支援二課】	生活保護が適正に実施されることで、不正受給を未然に防止できます。	平成 24 年度 220 件であった不正受給件数を減らします。		26	
					27	
					28	
					計	

◆必要なときに必要な人がサービスを受けられる体制を確立します

◇ 地域ケア体制を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
23	地域包括支援センターを拠点に、地域における高齢者支援の充実を図ります。【高齢者支援課】	高齢者支援体制が整備されます。	平成 24 年度 21,102 件であった総合相談件数を 26,000 件に増やします。	地域ケアシステム事業（地域包括支援センター関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	
24	災害時に備えるために、避難行動要支援者の避難支援体制を整備します。【地域福祉課、危機管理課】	避難行動要支援者の避難支援体制が確保されます。	全ての地区で災害時における要支援者の避難支援体制を構築します。	地域ケアシステム推進事業（避難行動要支援者避難支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆死者を弔います

◇ 斎場を適正に管理します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
25	北山市民会館及び斎場の老朽化による建て替え計画を検討します。【地域福祉課】	斎場の機能を維持します。	平成 28 年度までに建て替え計画のための基本調査を行います。	北山会館・式場管理運営事業（施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策6） 安心して子どもを産み、健やかに育てることができるようにします

めざしたい将来像

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	91.6%	90%	90%
就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	—	—	6.7%	7.09%	5% (No32参照)	5%
合計特殊出生率	1.28 (13年)	1.20 (19年)	1.29 (20年)	1.30	1.32	1.33

◆安心して出産します

◆健やかに子どもを育めるようにします

◇ 母子健康支援事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
26	子育て環境を把握するため、乳幼児健診の充実を図り、乳幼児の健康を保持します。 【子ども家庭相談課】	心身障害の早期発見や早期援助、虐待の予防や早期発見につながります。	未受診児への全戸訪問を行います。	乳幼児健康診査事業（1歳6ヶ月児健康診査業務、3歳児健康診査業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 療育支援事業を充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
27	児童発達支援センターの特徴を活かし、地域における障害児支援を強化します。 【健康福祉会館】	子どもの発達に不安を持つ保護者が、安心して子育てができます。	相談支援事業所の利用件数を増やします。	こども発達センター管理運営事業（外来療育業務、通園保育業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 虐待の早期発見・対応をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
28	地域や行政が連携し、児童虐待の早期発見、早期対応を図ります。 【子ども家庭相談課】	児童虐待の予防を進め、深刻化を防ぎます。	母子保健事業と連携を図りながら活動し、児童虐待の予防を充実させます。	児童虐待等早期発見・対応事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 子育て支援サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
29	地域における子育て支援活動の促進を図ります。 【子育て支援課】	地域ぐるみで子育てを支援できるようになります。	子育て支援の拠点で情報発信や相談に対応した子育てコーディネータ事業を推進します。	地域子育て支援事業	26	
					27	
					28	
					計	
30	子どもが安心して過ごすことができる地域をつくります。 【子どもわかもの課】	子どもがのびのび遊べる地域をつくります。	小中高生の地域の活動場所の充実を図ります。	児童館管理運営事業（運営業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆家庭と仕事を両立できるようにします

◇ 保育所サービスを充実します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
31	児童の安全を確保するため、公立保育所の耐震化を図ります。 【保育課】	安心して子どもを預けられる施設が整備されます。	平成 24 年度 14 箇所であった耐震基準を満たす保育所を 17 箇所に増やします。	市立保育所関係事業(施設整備業務)	26	
					27	
					28	
					計	
32	待機児童の解消を図るため、民間保育所の誘致や小規模保育の拡充を図ります。 【保育課】	地域の保育需要に対応し安定した保育サービスが提供されます。	入所保留児童を含めた待機児童ゼロをめざします。	民間保育所関係事業（建設費補助金） 保育サービス多様化促進事業（小規模保育業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第4項（政策7） 市立病院として高度で良質な医療を提供します

めざしたい将来像

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
患者満足度	—	—	58.2%	70.7%	70%台	60%台
平均在院日数	18.3日	14.6日	13.7日	12.4日	12.0日	11.5日
紹介・逆紹介率	—	—	紹介 47.7% 逆紹介 30.3%	紹介 57.4% 逆紹介 73.1%	紹介 60%以上 逆紹介 60%以上	紹介 60% 逆紹介 30%
一般病床利用率	88.9%	81.1%	80.7%	76.5%	90%	90%
年間手術件数	5,167件	4,552件	4,319件	3,884件	4,550件	4,550件
経常収支比率	101.6%	98.6%	100.5%	98.4%	100%	100%

◆地域の中核的な病院としての機能を充実します

◇ 地域との医療連携を推進し、担うべき機能の充実を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
33	循環型地域医療連携を推進するための研修や医療提供の支援を行います。 【地域連携課】	患者さんにとって効果的な医療を提供できます。	平成24年度7回開催した地域医療機関等を対象とした研修会を10回程度開催します。	地域医療支援病院事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 病院の建て替えを推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
34	新病院を建設し安全安心な医療を提供します。 【建設事務局・経営企画課】	将来に渡り、松戸市民等の患者さんに対し、安全・安心かつ高度な急性期医療を提供します。	病院建設事業全進捗状況を100%にします。	新病院建設事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆患者主体の医療を推進します

◇ 医療体制の維持・質を向上します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
35	安定した医療体制を維持するため、医師、看護師、コ・メディカル等必要な人材を確保・育成します。 【市立病院総務課・東松戸病院総務課】	スタッフ一人ひとりが能力を最大限に発揮し、質の高い医療を提供します。	平成24年度12人であった臨床研修医の受入人数を14人程度に増やします。	医療従事者の確保事業 医療従事者の育成事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 病院事業と市民の協働事業を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
36	市民との協働事業を推進するため、ボランティアやNPOとの協力により来院者が利用し易くなるような環境を整備します。 【市立病院総務課、東松戸病院総務課】	地域と共存できる病院が実現します。	平成24年度65人であったボランティア活動者数を両病院合わせて70人程度に増やします。	ボランティア等市民活動の育成事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆病院経営基盤の充実を図ります

◇ 病院経営の適切な運営をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
37	経営の自立化、安定化、経営基盤の強化を図るため、戦略的な経営マネジメントを確立させます。 【経営企画課】	自立した病院経営が実現し、赤字体質の改善が図られます。	医業収支比率を100%に向上させます。	経営改善の推進事業	26	
					27	
					28	
					計	

第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

第1項（政策8） 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします

めざしたい将来像

子どもたちの社会での自立のために、家庭、学校、地域の連携のもと、地域の人々の力を活かし、地域を体験の場とするなどして、他人を思いやれる人間として成長できる真の生きる力を引き出す教育を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	60.4%	69.9%	73.7%	77.4%	77.8%	75%
授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	—	54.7%	59.3%	67.7%	68.1%	65%
学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	—	—	1,887回	1,955回	1,975回	2,000回

◆基礎基本を習得します

◇ 基礎学力を定着させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
38	小中連携を深め、言語活用科等本市独自の取組みを推進し、児童・生徒の学力向上を図ります。 【指導課】	言語活用科を軸に、カリキュラム、スクールマネジメントの質の向上を図ることで、学習指導が充実します。	平成 24 年度小学校 10 種類、中学校 30 種類であった言語活用科授業指導案の種類数を増やします。	学習指導事業（国際理解教育推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
39	きめ細やかな指導により児童生徒の学力向上を目指します。 【教育企画課】	カリキュラムやスクールマネジメントの質及び教員の授業力の向上が図られ、児童生徒の自己効力感や学力が向上します。	スタッフを活用した教育課題解決のための目標達成状況総合評価(4段階)を、平均 2.8 以上にします。	特色ある学校づくり推進事業(スタッフ派遣業務)	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 豊かな心と体を育てます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
40	安全安心な学校づくりを推進します。 【保健体育課】	安全安心な学校環境が整います。	「老朽化のため再構築が望ましい」と診断された小学校の遊具が安全に使用できるよう整備します。	学校体育支援事業（学校体育備品整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 個のニーズに応じた教育的支援をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
41	不登校児童生徒への相談や支援体制の充実を図ります。 【教育研究所】	相談体制と学習支援体制が整い、適応指導教室の利用が促進されます。	平成 24 年度 11%であった不登校児童生徒に占める適応指導教室利用率を 20%に上昇させます。	教育相談事業（学校教育相談業務）	26	
					27	
					28	
					計	
42	特別支援学級を計画的に設置します。 【教育研究所】	特別なニーズをもつ児童生徒への指導体制が充実します。	平成 24 年度 56.3%であった特別支援学級及び通級指導教室の設置率を 65%に上昇させます。	特別支援教育事業（就学相談業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆一人ひとりの個性にあった教育が受けられます

◇ 個をのばす高校教育をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
43	大学との連携・相互協力の体制づくりを進めます。 【市立高校】	生徒が大学での学習形態や環境を理解でき、進学意欲の向上につながります。	平成 24 年度に 90.9%であった進路達成率を上昇させます。	高大連携支援事業 （その他高大連携活動支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	
44	明確な経営理念を持った人材の登用、特色ある教育活動の研究を進めます。 【学務課】	新しい発想による学校経営や教育活動が推進できます。	魅力ある市立高校創りのための検討会議を設置します。	魅力ある市立高校創り研究事業	26	
					27	
					28	
					計	
45	市立高校の教育センター的機能（義務教育との連携・相互協力）の充実を図ります。 【市立高校】	小中高の連携を強め、小中で培った英語力を国際人文科に反映させます。	平成 24 年度まで 1 回であった在学中の海外研修旅行を 2 回に増やします。	特色ある教育活動推進事業（国際教育活動業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆安全な環境で安心した教育が受けられます

◇ 施設、設備を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
46	学校の芝生化の推進を図り、環境整備を進めます。 【教育施設課】	子どもたちの活動環境が改善されます。	小学校の校庭芝生化の実効性を検証します。	小学校施設整備事業	26	
					27	
					28	
					計	
47	小中学校の耐震化や施設の整備を推進します。 【教育施設課】	より安全・安心で快適な学校施設が整備されます。	耐震化工事を完了させます。	小学校大規模改造耐震改修事業 中学校大規模改造耐震改修事業	26	
					27	
					28	
					計	
48	小中学校の冷房化を推進します。 【教育施設課】	児童生徒に快適な学校環境を提供できます。	全ての小学校及び中学校に冷房を設置します。	小学校冷房化事業 中学校冷房化事業	26	
					27	
					28	
					計	
49	教育環境を整備するため、（仮称）関台小学校を新設します。 【教育施設課、学務課、教育企画課】	東部地区の小中学校が適正規模・適正配置になります。	東部小学校の大規模化が解消されます。	（仮称）関台小学校新設事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策9） 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

めざしたい将来像

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
学習活動を行っている市民の割合	44.4%	42.2%	39.8%	36.2%	45%	50%
学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	69.4%	66.9%	66.1%	66.2%	70%	75%
目的をもって部活動をしている児童生徒の割合	—	68.2%	77.6%	81.0%	86%	90%
スポーツを行なっている市民の割合	33.4%	36.0%	35.9%	35.4%	45%	50%

◆学習したい人が生涯にわたり学習できるようにします

◇ 市民ニーズに対応した学習機会を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
50	地域と連携し市民が主体となる学習活動を推進します。 【公民館】	市民自らが地域の課題に主体的に取り組むようになります。	平成 24 年度 22 講座だった市民自主企画講座数を 25 講座に増やします。	学習機会提供事業 （自主企画活動支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 学習の場を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
51	生涯教育施設を再編し、生涯学習センターの計画策定に着手します。 【社会教育課】	生涯学習センターの方向性が明確になります。	関連部署と連携し、生涯学習センターの計画策定委員会を設置します。	生涯学習センター計画事業	26	
					27	
					28	
					計	
52	新たな図書館の整備に向けた、計画の策定に着手します。 【社会教育課、図書館、教育企画課】	図書館整備の方向性が明確になります。	図書館整備計画を策定します。	社会教育推進事業 （図書館整備計画検討委員会委員報酬）	26	
					27	
					28	
					計	

◆子どもたちが健全に社会参加活動ができるようにします

◇ 家庭・地域の教育力を向上させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
53	学校のニーズに基づく学校支援活動を通し、生涯学習の場を提供します。 【教育企画課】	学校支援活動に学びの機会を得ることで、自己実現できるようにします。	平成 24 年度 93.8%であった学校ボランティアを受け入れた学校の割合を高めま	学校を核にした地域コミュニティづくり事業（学校支援地域連携業務）	26	
					27	
					28	
					計	
54	家庭教育を充実させるため、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援体制の充実を図ります。 【公民館】	悩みを持った保護者を支援することで、家庭の教育力が向上します。	平成 24 年度 10,347 人だった家庭教育学級への参加者数を 10,480 人に増やします。	家庭教育力向上事業（家庭教育学級開催業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 青少年の自主活動、社会参加活動を促進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
55	青少年の社会参加活動を推進するため、体験活動のできる機会を充実します。 【公民館】	青少年の社会参加活動の機会が増えます。	平成 24 年度 40 講座であった青少年対象講座数を 43 講座に増やします。	青少年会館学習機会提供事業（各種講座開催業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆スポーツをしたい人がスポーツをできるようにします

◇ スポーツの市民活動を支援・育成します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
56	総合型地域スポーツクラブの設立を支援し、市民がいつでもスポーツ活動ができる場の充実を図ります。 【スポーツ課】	市民が健康で活動的な生活を送ることが出来ます。	平成 24 年度 3 団体であった総合型スポーツクラブ設立数を 6 団体に増やします。	スポーツ活動支援事業（地域スポーツ支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ スポーツに親しむ環境を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
57	スポーツ施設を計画的に整備し、スポーツのできる環境を整えます。 【スポーツ課】	スポーツのできる環境が整います。	平成 24 年度約 27 万人であった運動公園施設利用者数を 28 万人に増やします。	松戸運動公園管理運営事業（施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策10） 国際的な広い視野と平和を愛する心が生まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします

めざしたい将来像

平和を大切にし、松戸を愛する人を増やすため、日本人も外国人も皆が松戸の歴史や文化・伝統が身近に感じられる工夫をこらして、誰もが誇りのもてる“ふるさと松戸”を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
史跡や神社、仏閣など 歴史・伝統文化遺産の 満足度	20.5%	18.0%	18.2%	21.0%	21%	20%
文化・芸術に親しむ 市民の割合	46.8%	44.2%	48.4%	45.1%	50%	50%
外国籍市民と交流 している人の割合	3.6%	3.0%	3.3%	3.7%	4%	5%
外国人市民で暮らし に満足している割合	56.0%	82.7%	82.7%	82.5% (23年度)	84%	85%
世界平和都市宣言の 認知度	53.9%	54.7%	52.7%	58.2%	59%	60%

◆固有の文化・伝統に触れることができるようにします

◇ 歴史的文化資源を活かします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
58	文化資源を活かすため、博物館の企画展等の充実を図ります。 【博物館】	地域の歴史、文化、芸術に関する関心が高まります。	平成 24 年度 67,346 人だった 博物館利用者数を 大幅に増やしま す。	博物館展示事業 （企画・資料展示 業務）	26	
					27	
					28	
					計	
59	戸定歴史館の企画展等の充実を図ります。 【戸定歴史館】	松戸市の歴史につ いて理解が高まり ます。	平成 24 年度 39,956 人であっ た戸定邸、戸定歴 史館の入館者数を 大幅に増やしま す。	戸定歴史館管理運 営事業（企画展開 催業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆文化・芸術活動を振興します

◇ 文化・芸術の場を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
60	文化会館及び市民劇場を計画的に修繕・整備します。 【社会教育課】	文化会館及び市民劇場を計画的に修繕することにより良好な状態で提供します。	修繕計画に沿った修繕を実施します。	文化会館管理運営事業（管理代行業務） 市民劇場管理運営事業（管理代行業務）	26	
					27	
					28	
					計	
61	インターネット等のメディアを活用し、生涯学習関連情報を積極的に発信します。 【公民館】	個人や団体の生涯学習活動がより活発になります。	生涯学習情報提供システム「まなびいネット」へのアクセス数を増やします。	文化ホール管理運営事業（施設維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆国際化の推進と平和意識を高めます

◇国際化を推進する

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
62	外国人への観光情報提供など、国際交流協会の取り組みを支援します。 【文化観光課】	本市に関心を持つ外国人が増えます。	平成 24 年度 1,030 人であっ た国際交流協会 のイベントに参 加する外国人を 増やします。	国際交流推進事業 （国際交流協会運 営費補助金）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 平和意識を高めます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
63	戦争体験を風化させないための取り組みを進めます。 【総務課】	平和に関する意識が高まります。	平成 24 年度 1,215 人であった平和事業イベント参加者を増やします。	平和事業	26	
					27	
					28	
					計	

第4節 安全で快適な生活環境の実現

第1項（政策11） 災害に対する不安を減らすようにします

めざしたい将来像

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にする社会を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	84.0%	85%	80%
総合防災訓練への対象団体の参加率	—	—	81% (47/58団体) (19年度)	87.5% (63/72団体)	100%	100%
自主防災組織の訓練実施率	31.7%	—	51.0% (19年度)	69.2%	73%	64%
自主防災組織の結成率	—	—	87.32%	78.4%	100%	100%

◆被害が軽減するようにします

◇ 地域防災活動を活性化させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
64	地域防災を活性化するために、自主防災組織の活性化を支援します。 【危機管理課】	地域における防災力が高まります。	自主防災組織の結成率・訓練実施率を上げます。	防災組織強化事業 （自主防災組織育成強化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 地域の災害時の活動拠点を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
65	災害時に住民へ情報を伝達するため、情報収集し、様々な方法で発信できる手段を構築します。 【危機管理課】	災害時においても情報収集・伝達ができる手段が確保されます。	現在9つある情報収集・伝達手段を、さらに拡充します。	防災施設整備事業 （通信体制整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆被害の復旧ができるようにします

◇ 被害発生時に応急活動を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
66	鉄道事業者、大型商業店舗、学校、県などの関係機関と協議し、帰宅困難者・駅滞留者等への対策を検討します。 【危機管理課】	帰宅困難者・駅滞留者等の安全が確保されます。	松戸駅周辺帰宅困難者等対策協議会で対策を検討し、災害時の対応を共有します。	災害活動対応事業 （防災関係機関連携業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 放射能対策を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
67	放射能対策総合計画における個別実施計画（「食品安全」「環境放射線低減対策」「廃棄物処理」「健康管理」）を推進します。 【放射能対策課】	安心して健康的な日々を送れるまちなります。	放射能対策により不安を解消します。	放射能対策企画調整等事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策12） 火災等の災害から市民生活を守ります

めざしたい将来像

市民一人ひとりが火災を発生させないようにするとともに、地域と行政で連携して、火災等による被害が少ない安全・安心なまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
出火率 (火災件数/対人口1万人)	3.7 (13年)	2.6 (19年)	2.4 (21年)	3.1 (24年)	2.4 (28年)	2.4 (32年)
住宅用火災警報器の 設置率	—	—	59.2%	69.2%	79.6%	90%

◆火災を予防します

◇ 火災を予防し、火災が発生しても被害を最小限に食い止める環境を作ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
68	住宅用火災警報器設置など、火災予防体制の充実を図ります。 【予防課】	火災による被害を最小限にすることができます。	平成 24 年 22% だった初期消火実施率を高めます。	火災予防対策事業（火災予防普及啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆火災等の災害を拡大させない消防体制を確立します

◇ 消防指令業務の共同運用を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
69	千葉県北西部 11 市の指令業務共同運用を開始するため、方向性について検討します。 【警防課】	共同運用の方向性が明確になります。	共同指令センターについての整備計画や運営計画を作成します。	千葉北西部消防指令センター事業（運用開始準備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 消防施設の機能を強化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
70	松戸市南部地域の災害対応力強化を図るため、中央消防署の建替えについて取り組みます。 【消防総務課】	中央消防署の建替えが始まります。	松戸市南部地域の災害活動拠点強化を目指し、中央消防署の建替えを開始します。	中央消防署建設事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆災害等に迅速に対応します

◇ 地域に密着した消防団が街を守ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
71	地域における消防団員を確保し、災害対応への強化を図ります。 【消防総務課】	大規模災害時に備えた防災体制が整備されます。	平成 24 年 91.4%であった消防団員の充足率を高めます。	消防団活動事業（消防団管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策13） 救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます

めざしたい将来像

救急医療機関の受け入れ状況を的確に把握できるような救急医療システムを構築するとともに、居合わせた市民が応急手当をできるように知識・技能を向上させることで、緊急事態でもより多くの市民の生命を守ることができる安心安全なまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
心肺停止傷病者の 1ヶ月生存率（1ヶ月 生存者数/心肺蘇生実 施者数）	—	6.5 (19年)	6.1 (21年)	5.4 (24年)	6.1 (28年)	6.8 (32年)
救急入電から医療機関 に収容するまでに要す る時間	—	—	35.1分 (21年)	38.5分 (24年)	36.8分 (28年)	34.9分 (32年)

◆救急救命の環境をつくります

◇ 予防救急を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
72	本当に救急車が必要な人が利用できるようにするために、救急車の適正利用を推進します。 【救急課】	緊急性の高い傷病者が救急車を利用できます。	平成24年実績値 46.0%であった救急搬送された傷病者のうち軽症と診断された傷病者の割合を少なくします。	予防救急推進事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 救急救命ネットワークを拡大します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
73	救命率の向上を図るため、講習会の開催など、応急手当技術の普及啓発を推進します。 【救急課】	適正な応急手当を実施する人が増えます。	平成24年実績値 45.1%であった心肺蘇生法実施率を高めます。	応急救護普及事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆市民が安心できる救急体制を確立します

◇ 救急活動を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
74	高い技術を持った救急救命士を養成するなど、高度な知識や技術が確保される体制を整備します。 【救急課】	高度な救急救命処置が提供できます。	救急救命士が2名以上常時乗車する体制を確立します。	高度救急関係事業 (救急救命士養成業務)	26	
					27	
					28	
					計	

第4項（政策14） 環境にやさしい地域社会をつくります

めざしたい将来像

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
温室効果ガス削減量 (CO ₂ 換算)	—	—	142,649 t	173,524 t	352,400 t	446,800 t
廃棄物の最終処分量	20,847 t	18,640 t	18,270 t	17,900 t	14,000 t	11,000 t
二酸化窒素の 環境基準達成率	75%	75%	75%	100%	100%	100%

◆環境にやさしい行動を促進します

◇ 温室効果ガスの排出を抑制します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
75	市民、事業所とともに、地球温暖化を防止するための取り組みを進めます。 【環境政策課】	二酸化炭素の排出量を減らします。	CO ₂ 排出量を平成 24 年度推計値 1,920,000 t から 352,400 t 削減します。	地球温暖化防止事業（減 CO ₂ 大作戦推進業務、新エネルギービジョン推進業務、省エネルギービジョン推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
76	既存のエネルギーへの依存度を減らすため、再生可能なエネルギーや省エネルギー設備の導入を図ります。 【環境政策課】	市内の年間の電力使用量が減少します。	太陽光発電システムの補助金を年間 400 件確保します。			

◆廃棄物による環境負荷を減らします

◇ 廃棄物の減量を促進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
77	ごみの減量・資源化をはかるため、広報活動やイベントへの参加を通じて意識の向上を図り、3Rを推進します。 【環境業務課・廃棄物対策課】	3R施策への理解が高まります。	平成 24 年度 766.8 g / 日・人であった原単位を減らします。	ごみ減量促進事業（ごみ減量促進啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 廃棄物の資源化を促進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
78	廃棄物の再資源化を図るため、市内全域での集団回収の利用を拡大します。 【環境業務課】	地域のリサイクル活動が活性化します。	平成 24 年度 470 団体であった集団回収団体数を 480 団体に増やします。	民間回収資源化システム支援事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 廃棄物を適正に処理します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
79	家庭ごみ分別チラシの配布、パートナー講座の実施等の啓発活動を行い、ごみ分別の徹底を図ります。 【環境業務課】	ごみの分別により廃棄物を適正に処理することができます。	平成 24 年度 831 件であった違反件数を 700 件に減らします。	ごみ分別排出指導事業	26	
					27	
					28	
					計	
80	ごみの適正な処理を進めるため、和名ヶ谷クリーンセンターの長寿命化を図ります。 【和名ヶ谷クリーンセンター】	ごみの安定的かつ効率的な処理が維持されます	平成 24 年度 9.4%であった基幹的整備が完了します。	清掃施設基幹整備事業（和名ヶ谷クリーンセンター基幹整備事業）	26	
					27	
					28	
					計	

◆大気汚染に係る物質を減らします

◆生活上の不快要因を減らします

◇環境保全、公衆衛生向上のための管理指導を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
81	地域の環境を保全するため、飼い主のいない猫を減らすとともに、飼い主のマナー向上を図ります。 【環境保全課】	犬や猫に起因する苦情が減ります。	平成24年度31件であった苦情件数を減少させます。	動物飼養管理事業	26	
					27	
					28	
					計	

第5項（政策15） 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります

めざしたい将来像

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
刑法犯認知件数 (対1千人)	28.2件	16.4件	14.1件	13.4件	13.2件	13件
防犯用品貸与団体数	—	40団体	288団体	312団体	317団体	320団体
交通事故による死傷者数 (対1千人)	6.5人	5.4人	4.5人	3.6人	3.4人	4人
交通事故の発生件数 (対1千人)	5.3件	4.5件	3.9件	2.9件	2.8件	3.5件
消費者トラブルに 巻き込まれた人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	8.4%	8.2%	8%

◆安心して日常生活が送れるようにします

◇ 防犯活動を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
82	市民の安全・安心を確保するため、防犯灯の LED 化を進めます。 【市民自治課】	防犯環境が整備され、経費削減にもつながります。	平成 24 年度 6.5%であった LED 防犯灯の割合を 90%以上に高めます。	防犯灯整備事業	26	
					27	
					28	
					計	
83	安全・安心なまちづくりを進めるため、警防ネットワークの強化、防犯カメラの設置など、地域ぐるみでの防犯対策を推進します。 【市民安全課】	犯罪が減少し、治安の良さを実感できるようになります。	街頭防犯ネットワークカメラを 1,000 台まで増やします。	地域ぐるみ安全安心推進事業（市民生活安全対策業務、市民ぐるみ犯罪防止業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆安心して買い物ができるようにします

◇ 消費者情報を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
84	消費者被害を防止するため、情報の収集及び提供を行い、消費者の自立を支援します。 【消費生活課】	市民が安心して消費できるようになります。	平成 24 年度 646 人であった消費者講座受講者数を 736 人に増やします。	消費者学習支援事業（生活情報提供業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 消費者の保護をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
85	消費者被害に的確かつ迅速に対応するため、消費生活に関する相談を充実します。 【消費生活課】	悪質商法などによる被害が抑制されます。	多発する消費者被害の注意喚起を常に行い、被害を減少させます。	消費生活相談事業（消費生活センター運営業務）	26	
					27	
					28	

第6項（政策16） 緑と花に親しむことができるようにします

めざしたい将来像

生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切に思いやりの心を持ち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	22.0%	23.5%	25%
里やまボランティア活動団体数	3団体	7団体	12団体	14団体	19団体	23団体
花いっぱい運動活動団体数	30団体	59団体	68団体	88団体	100団体	101団体
公園緑地活動団体数	—	129団体	145団体	152団体	164団体	180団体
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	—	—	6.2%	8.2%	13.1%	18%

◆緑を増やします

◇ 公園・緑地を増やします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
86	子育て、地域コミュニティや防災面から、公園を再整備します。 【公園緑地課】	市民ニーズに合う公園が再整備されます。	毎年1地域ごとに再整備を行います。	地域公園整備事業 （地域公園整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
87	21世紀の森と広場は、多様なニーズにこたえていくための施策を展開し、魅力を高めます。 【公園緑地課】	21世紀の森と広場の魅力を高め、来園者数を増やします。	平成24年度523千人であった21世紀の森と広場の来園者数を700千人に増やします。	総合公園整備事業 （21世紀の森と広場施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
88	歴史的な文化や景観向上を図るため、戸定が丘歴史公園の拡充整備を行います。 【公園緑地課】	戸定が丘歴史公園の魅力が高まります。	戸定が丘歴史公園整備が完了します。	特殊公園整備事業 （戸定が丘歴史公園拡充整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
89	公園・緑地を良好に保つため、市民団体による清掃活動を推進します。 【公園緑地課】	使いやすい公園、安心して安全な公園、愛着のもてる公園にします。	地域活動団体数を毎年3団体増やします。	市内公園緑地管理事業（維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 樹木や花を増やします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
90	緑豊かで花のあるまちづくりを推進するため、市民参加による緑化を推進します。 【みどりと花の課】	みどりの担い手が増えます。	緑地の保全と緑化の推進に携わる団体を新たに12団体増やします。	市民参加緑化事業 （緑のボランティア関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	
91	緑豊かな街並みを形成するため、街路樹の健全育成を図ります。 【みどりと花の課】	まち並み景観、安全性を向上します。	街路樹の平均剪定サイクルを短縮します。	公共用地等緑化事業	26	
					27	
					28	
					計	

第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第1項（政策17） 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

めざしたい将来像

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	39%	45%	50%
商業の年間商品販売額	80,376,473 万円	76,668,908 万円	—	—	69,002,017 万円	80,000,000 万円
製造品出荷額	46,795,923 万円 (H12.12)	42,773,374 万円 (H18.12)	47,370,740 万円 (H20)	46,101,038 万円 (H23)	41,490,934 万円	43,000,000 万円
農用地利用権設定面積	—	1.54ha	3.55ha	1.81ha	2.1ha	1.8ha
松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	—	—	19.0%	19.6%	25%	30%
主要観光スポットの観光客数	3,175千人	2,627千人 (H19.12)	2,617千人	2,740千人	2,820千人	2,800千人

◆商工業を盛んにします

◇ 松戸駅周辺を活性化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
92	地元とともに、まちづくり基本構想に基づいた基本計画案を策定します。 【街づくり課】	相模台地区を含む駅周辺の整備方針が決まります。	5年以内に着手を予定している先行整備地区の整備方針を定めます。	松戸駅周辺地域活性化事業（まちづくり基本構想推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 商業等の活性化を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
93	松戸駅周辺の価値を高めるため、関係団体と連携しながら、中心市街地活性化を図ります。 【商工振興課】	賑わいに溢れる商業拠点になります。	平成24年度29回であった中心市街地におけるイベント開催件数を増やします。	商店街活性化指導事業（中心市街地活性化業務）	26	
					27	
					28	
					計	
94	販売促進事業や空き店舗の活用により商店街の活性化を図ります。 【商工振興課】	商店街の賑わいが創出され、地域コミュニティの向上に寄与します。	空き店舗活用事業を毎年1件増やします。	商店街共同事業支援事業（商業振興関係行事開催事業補助金、空き店舗対策支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 中小企業の経営を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
95	事業者・起業希望者の経営支援のため、相談事業等の充実を努めます。 【商工振興課】	市内中小企業の経営の安定が図られます。	平成24年度125件であった中小企業経営相談件数を増やします。	経営支援事業（中小企業相談室業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 工業等の活性化を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
96	工業関係団体等と連携し、市内に新たな企業を誘致します。 【商工振興課】	雇用や税収の増加につながります。	工業団地へ新たな企業を2ヶ所誘致します。	企業誘致事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 市場を活性化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
97	市場を活性化するため、公設市場の民営化に向けた検討を行います。 【消費生活課】	効率的で自由な民営市場の実現に向けて方向性を明らかにします。	民営化に向けて、その準備に係る検討会等を発足させます。	市場施設管理事業（施設管理関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆ 農林水産業を続けられるようにします

◇ 農業の生産性を向上させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
98	農業の生産性の向上のため、農地の利用集積を推進します。 【農政課】	農業経営規模の拡大と遊休農地の解消が図られます。	平成 24 年度 23.5ha あった遊休農地を減らします。	農業経営基盤強化事業（農用地利用促進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
99	地場農産物の生産供給を拡大するため、松戸市産ブランド品を育てます。 【農政課】	松戸市産のブランド農産物が安定的に供給されます。	平成 24 年度 474 人であった松戸ブランド農産物認定生産者数を増やします。	産地育成強化支援事業（農産物ブランド化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 農地を保全します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
100	安全・安心な地場農産物を生産供給するために、環境保全型農業を推進します。 【農政課】	安全・安心な地場農産物が安定的に供給されます。	平成 24 年度 1,212,188 千円だった農産物出荷額を増やします。	環境保全型農業推進事業（土づくり推進事業補助金、環境にやさしい農業推進事業補助金）	26	
					27	
					28	
					計	
101	地場農産物とふれあい、農業への関心をもってもらうために、オーナー農園・体験農園を支援します。 【農政課】	生産者と市民の交流を通じ、農業への理解が図られます。	平成 24 年度、760 区画だったオーナー農園の販売区画数を増やします。	観光農業普及奨励事業（オーナー農園支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆市内観光を楽しめるようにします

◇ 観光情報を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
102	松戸ゆかりの人や観光協会と連携した観光情報を提供し、観光促進を図ります。 【文化観光課】	様々な観光情報に触れることができます。	観光協会のホームページアクセス数を増やします。	観光促進事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 観光資源を活用します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
103	文化・芸術的な観光資源を活用し、新たな価値の創造を図ります。 【文化観光課】	観光振興に繋がる新たな文化等が根付きます。	既存の観光資源を活かして、新たなイベントを開催します。	文化の香りのする街事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策18） 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにします

めざしたい将来像

松戸市に住む人が潤いのある生活を送れるように、若者から高齢者まで就労したい人は誰もが、就労できる環境をつくることによって、松戸に住んでよかったと思えるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
新規求人倍率 (松戸市内)	0.66倍	0.86倍	0.51倍	0.73倍	1.0倍	1.0倍
65歳以上の完全失業率	4.8% (H12)	—	5.8% (H17)	5.7% (H22)	5.3%	4.8%
20歳代の就業率	69.2% (H12)	—	66.8% (H17)	67.6% (H22)	68.8%	70%
就業者数	235,837人 (H12)	—	232,391人 (H17)	226,256人 (H22)	232,391人	260,000人
障害者法定雇用率を達成している企業の割合(松戸市内)	51.4%	37.0% (H18.6)	42.5% (H21.6)	35.6% (H24.6)	35.6%	50%
障害者法定雇用率を達成している企業数	—	—	34社	32社	36社	40社

◆働きたい人は働けるようにします

◇ 多様な雇用ニーズを支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
104	若年求職者に対して、職業能力を向上させるための支援を行うとともに、関係機関との連携を図ることで、求職者と求人をつなげることができるようにします。 【商工振興課】	若者の就労が増えます。	平成 24 年度 111 人であった若者就労支援事業参加者数を増やします。	雇用促進事業（若者就労支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	
105	障害者の職場実習や雇用に対する助成等を行うとともに、関係機関と連携し、企業への働きかけを行うなど、障害者の就労を支援します。 【商工振興課】	障害者の雇用が増えます。	平成 24 年度 29 社であった障害者職場実習奨励金申請企業数を増やします。	雇用促進事業（障害者職場実習奨励業務、障害者・高齢者雇用促進奨励業務）	26	
					27	
					28	
					計	
106	女性や高齢者が就労セミナーに参加しやすい環境をつくるなど、幅広い就労支援を行います。 【商工振興課】	個性を活かして働く人が増えます。	平成 24 年度 87 人であった再雇用促進講座参加者数を増やします。	雇用促進事業（求人・就職雇用促進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策19） ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします

めざしたい将来像

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
安心やゆとりを感じている人の割合	24.6%	25.6%	26.9%	29.5%	33%	30%
最低居住面積水準未満率	7.0% (10年度)	—	8.3% (20年度)	8.3% (20年度)	0%	0%
景観づくりに参加する人の数	—	48人	73人	74人	97人	120人
地区計画策定面積	104.0ha	104.0ha	104.9ha	105.4ha	116ha	127ha

◆住環境が整ったまちにします

◇ 合理的な土地利用を進めます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
107	魅力あるまちを創出するため、一団のまとまった土地について、開発可能な土地利用を見直します。 【都市計画課】	適切で秩序ある調和のとれた土地利用が形成されます。	区域区分等の見直しを行います。	土地利用関連計画策定事業（調査検討業務）	26	
					27	
					28	
					計	
108	東松戸駅周辺のまちづくりを進めます。 【政策推進課】	東松戸駅周辺の魅力が上がり、住民の満足度も上がります。	まちづくり用地の事業化をめざします。	まちづくり用地活用事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 良好な宅地を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
109	新松戸駅東側の将来の街の方向性など、地元と協働で街づくりを進めます。 【街づくり課】	街づくりを担う協議会などの組織ができています。	協議会等を設置します。	土地区画整理事業（土地区画整理関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 災害（大雨や地震）による建築物破損などを減少させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
110	地震災害による建築物倒壊などを減少させるため、木造住宅等の耐震化の促進を図ります。 【建築指導課】	安全な住環境が整備されます。	民間木造住宅への助成件数を増やします。	既存建築物耐震診断・改修促進事業（助成業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆生活の援助が必要な人に住宅を供給します

◇ 良質な公営住宅を供給します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
111	良好な公共住宅を供給するため、市営住宅の耐震化を図ります。 【住宅政策課】	公営住宅の安全性が確保されます。	平成 24 年度 81%だった耐震化対応住宅の割合を 90%に高めます。	市営住宅管理事業（市営住宅維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	
112	安心して生活が営めるよう、老朽化した市営住宅の再整備の方策を検討します。 【住宅政策課】	再整備の方策が明らかになります。	再整備に向けた基本計画を定めます。	老朽化市営住宅建替事業（ハケ崎市営住宅建替業務）	26	
					27	
					28	
					計	
113	UR都市機構などの集合住宅のあるまちの今後のまちづくりを検討するため、市民、事業者、行政などによる検討体制をつくります。 【住宅政策課、健康福祉政策課】	集合住宅のあるまちの今後のまちづくりの方向性について、市民、事業者、行政などで共有します。	意見交換会、協議会、懇談会等を開催し、意見を集約します。	大規模団地等活性化事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆美しいまちなみを増やします

◇ 良好な都市景観を形成します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
114	良好な都市景観を形成するため、市民・事業者と協働して、地区での景観づくりを進めます。 【都市計画課】	地区での景観づくりの活動が活発になります。	平成 24 年度 1 地区だった計画づくりに着手している地区を 1 地区増やします。	都市景観推進事業（景観形成推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第4項（政策20） 誰もが安心してスムーズに移動できるようにします

めざしたい将来像

誰もが安心して気軽に外出できる街並みを増やすために、人と自然にやさしい公共交通と道を整備することによって、いつまでも住み続けていたいまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
道路のバリアフリー 地区別完了率	—	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	13% (2/15地区)	27% (4/15地区)
鉄道駅の バリアフリー化率 (ワンルート整備率)	5.3% (1/19駅)	47.4% (9/19駅)	60.0% (12/20駅)	77.2% (17/22駅)	91% (20/22駅)	100%
鉄道の混雑率 (緩行電車)	209% (12年度)	179% (18年度)	173% (20年度)	165%	158%	150%
鉄道の混雑率 (快速電車)	205% (12年度)	177% (18年度)	175% (20年度)	168%	159%	150%
渋滞箇所数	28箇所	26箇所	26箇所	24箇所	24箇所	25箇所

◆歩行者等が移動しやすくなります

◇ 道路の障害を取り除きます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
115	従来の対処療法型の管理から、橋梁長寿命化修繕計画に基づく予防保全型の管理に転換します。 【道路維持課】	橋梁の安全性・信頼性が確保でき、短期に集中する財政負担の回避にもつながります。	予防保全型修繕等を橋梁37橋実施します。	橋りょう維持管理事業（補修業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 高齢者・障害者等の移動機能を向上させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
116	交通バリアフリー基本構想に基づき、引き続き、松戸駅西口地区の歩道のバリアフリー化整備を行います。 【道路維持課】	歩行者の安全性が確保されます。	松戸駅西口地区の交通バリアフリー整備を完了させます。	道路改良事業（交通バリアフリー整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆車で移動しやすくなります

◇ 幹線道路を連続させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
117	長期未着手都市計画道路の将来的な必要性を検証し、廃止、変更及び継続路線の判定を行います。 【都市計画課】	より効率的、効果的な都市計画道路網が形成されます。	追加廃止・構造変更などの路線見直し率を5%にします。	都市計画道路計画策定事業（調査検討業務）	26	
					27	
					28	
					計	
118	幹線道路を連続させるため、都市計画道路の整備を図ります。 【道づくり課】	幹線道路網の整備が図られ、交通渋滞の緩和や高速道路へのアクセス向上にもつながります。	3・3・6号線（ハケ崎）、3・4・35号線（和名ヶ谷）については、供用を開始し、3・3・6号線（和名ヶ谷）については、事業に着手します。	都市計画道路新設整備事業 3・3・6号線街路整備業務（ハケ崎） 3・4・35号線街路整備業務（和名ヶ谷） 3・3・6号線街路整備業務（和名ヶ谷）	26	
					27	
					28	
					計	

◆公共交通が利用しやすくなります

◇ 輸送力を増強します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
119	千駄堀地区における交通利便性を向上させるため、新駅の設置について検討します。 【交通政策課】	新駅の設置について、方向性が明らかになります。	「森のホール21」を中心としたアクセシビリティを向上します。	交通利便性向上検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 放置自転車対策をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
120	自転車駐車場の整備に関する基本計画を策定し、利用者のニーズに合った駐輪場の整備や放置自転車対策の強化を図ります。 【交通政策課】	歩行者等の通行の安全と良好な駅前空間が確保されます。	平成24年度1,046台あった放置自転車の台数を減らします。	自転車駐車場管理運営事業（自転車駐車場整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第5項（政策21） 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

めざしたい将来像

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）	21.1%	22.7%	19.4%	22.0%	23.5%	25%
流域整備面積率	54.6%	57.4%	57.9%	67.8%	69.2%	62%
BOD(75%)値 （国分川水系）	15mg/l	8.6mg/l	9.0mg/l （20年度）	9.2 mg/l	10mg/l 以下	10mg/l 以下
水質基準達成率 （国分川水系 BOD）	37%	75%	83% （20年度）	83%	100%	100%
BOD(75%)値 （坂川水系）	5.9mg/l	5.1mg/l	7.0mg/l （20年度）	6.4mg/l	5mg/l 以下	5mg/l 以下
水質基準達成率 （坂川水系 BOD）	45%	66%	58% （20年度）	100%	100%	100%
河川利用イベントの参加者数	—	10,395人	18,700人	7,529人	14,000人	22,000人
下水道利用率 （下水道利用者数／市内人口）	62.17%	72.26%	74.10%	77.5%	81%	85%

◆水害を少なくします

◇ 河川を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
121	水害から市民を守るため、春木川、紙敷川、上富士川上流等の改修、整備を行います。 【河川清流課】	河川の改修や排水路の整備により、水の流れがよくなります	平成 24 年度、52.7%だった浸水対策率を56.1%にします。	排水施設整備事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆ 水環境をよくします

◇ 水辺空間をよくします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
122	水辺空間をよりよくするため、坂川親水広場の再整備を行います。 【河川清流課】	良好な水辺空間に魅力あふれる親水施設が整備されます。	坂川親水広場の再整備を完了させます。	水辺拠点事業（水辺の施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 下水道を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
123	マンホールの浮上防止対策及びマンホールトイレの設置など、下水道施設の整備を図ります。 【下水道整備課】	地震時への対応が図られます。	緊急輸送路等のマンホール 436 基の浮上防止対策を図り、避難所等におけるマンホールトイレ 9 校 86 基を設置します。	公共下水道整備事業（下水道施設耐震化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第6項（政策22） いつでも安心して水道水が使えるようにします

めざしたい将来像

いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
水道事業に満足している人の割合	21.6%	—	28.4% (20年2月)	33.7%	37%	41%
浄・配水施設の更新率	—	11.0%	43.6% (21年3月)	44.6%	49%	78%

◆安定して水を供給します

◇ 需要の変化に対応する

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
124	水道施設の耐震性や機能の向上を図ります。 【水道部工務課】	安全な水を安定的に、将来にわたって供給することができます。	幸田配水場の耐震化を完了します。	浄水・配水施設の整備	26	
					27	
					28	
					計	

第6節 都市経営の視点に立った行財政運営

第1項（政策23） 市民ニーズに基づく行政経営を行います

めざしたい将来像

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
住み続けたいと思う人の割合	58.6%	58.2%	60.0%	64.8%	65%	65%
行政サービスの改善度	—	—	26.8%	26.6%	29.4%	35%
後期基本計画のめざそう値の達成率	—	—	—	—	100%	100%
行政情報入手手段に係るホームページの割合	4.8%	11.3%	14.4%	18.9%	21%	25%
インターネットを利用している人の割合	38.1%	61.3%	60.0%	64.0%	67.0%	70%
いきいきと働いている職員の割合	—	—	49.2%	61.3%	65%	60%

◆市民ニーズ等を把握し、総合計画を策定します

◇ 社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
125	市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、市内大学との連携を強化します。 【政策推進課】	市と大学が連携した取り組みが増えます。	平成 24 年度 60 件であった市内大学と連携事業を 80 件に増やします。	松戸学官連携推進事業	26	
					27	
					28	
					計	
126	計画・財政・評価を一体としたサマーレビューを実施することで、事業目的や成果を明らかにし、必要な事業に資源を集中します。 【行政経営課、財政課】	持続可能であり、かつ、市民満足度の高い事業計画となります。	政策、財政、行革を一体として推進します。	サマーレビュー推進事業	26	
					27	
					28	
					計	
127	国・県等との調整を図り、様々な主体と情報共有しながら、中核市移行を推進します。 【政策推進研究室】	中核市移行に向けた準備が整います。	中核市への移行に向け、必要な組織・体制を構築します。	政策研究事業	26	
					27	
					28	
					計	
128	東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を本市の持続的発展に結びつけるため、関係機関と協力し検討を進めます。 【政策推進課】	本市の強みを活かした具体的な方策が明らかになります。	具体的な取り組みを整理します。	（仮称）オリンピック・パラリンピック検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 総合計画を策定します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
129	市民と一緒に後期基本計画の進捗状況を確認し、市民ニーズに基づく戦略的な実施計画を作成します。 【政策推進課】	戦略的な実施計画が策定されます。	市民意識調査を行い、市民ニーズを分析します。	後期基本計画推進事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆行政活動を透明にします

◇ 情報提供を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
130	松戸市の良さや魅力をより多くの人に知ってもらうための広報活動を行います。 【広報広聴課】	松戸市の魅力に気づく人が増えるとともに松戸市に誇りや愛着を持つ市民が増えます。	市の良さや魅力をより多くの人に知ってもらうための情報の発信件数や、メディアに掲載された市の情報の件数を増やします。	シティプロモーション事業	26	
					27	
					28	
					計	
131	広報と広聴の連携を強化し、市民と市職員が松戸市に関する情報や知識を共有できる仕組みを構築します。 【広報広聴課】	松戸市の情報と知識を持つ市民が増えます。	情報や知識を共有するための仕組みを増やします。	電子広報事業（ホームページ等運用管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆人材や情報システムを活用し、生産性の向上を図ります

◇ 人材を管理し、その育成を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
132	多様化した行政需要に対応できる高度な知識・能力を備えた人材を育成します。 【人事課】	職員のマネジメント能力、対人能力が向上します。	平成24年度84.4%であったプレゼンテーション研修の理解度を高めます。	人材育成事業（職員研修業務）	26	
					27	
					28	
					計	
133	職員が主体的に職務に取り組める職場づくりを進めます。 【人事課】	主体性をもって働ける職員が増えます。	平成24年度61.3%であった職員職場満足度を高めます。	人事管理事業（人事情報管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 基本的な職務の遂行方法を定義します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
134	民間給与水準を的確に反映し、給与の一層の適正化を図ります。 【人事課、行政経営課】	給与の適正化を図ります。	適正な定数配置と、諸手当の是正等による人件費を抑制します。	組織・機構整備事業	26	
					27	
					28	
					計	
135	寄附制度を市民に分かりやすく伝えるなど、寄附しやすい環境を整備します。 【総務課】	市民の寄附文化が根付きます。	平成24年度96件であった寄附件数を増やします。	寄附採納事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 情報システムの活用を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
136	行政経営の高度化を図るため、更なる機能整備を推進します。 【IT推進課】	業務における継続性の向上、安定化が図られます。	データセンターを活用します。	情報システム等活用事業	26	
					27	
					28	
					計	
137	オープンデータ、ビッグデータの利用の研究・促進を図ります。 【IT推進課】	市民サービスに活用できるデータが整備されます。	二次利用可能な形式でのデータ公開件数を増やします。	IT活用計画推進事業	26	
					27	
					28	
					計	
138	個人情報保護へ配慮し、総合窓口の検討も含め、番号制度を円滑に導入します。 【行政経営課、総務課、IT推進課】	市民が安全に、より便利で利用者負担の少ない行政サービスが受けられるようにします。	番号制度が円滑に稼働開始できる体制と機能を整備します。	番号制度導入事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策24） 財源、財産を適正に管理し、配分します

めざしたい将来像

市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、発展性のある健全な財政運営を実現します。そのために、将来を見越して、社会資源の有効活用を図りつつ、柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも不断の見直しを行います。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
財政力指数	0.886	0.963	0.951	0.88	0.98	1.050
経常収支比率	86.4%	92.1%	93.7%	90.0%	88%	85%
自主財源比率	67.0%	72.6%	69.6%	58.3%	70%	70%
将来負担比率	—	30.1%	29.9%	4.2%	35%	35%

◆財源を確保し、有効に配分します

◇ 資金資源の有効な配分を行い、歳出の最適化を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
139	財政の健全化を図るため、市民と市が情報を共有できる制度を検討します。 【財政課】	財政に関する情報が共有されます。	公会計を整備し、財務書類4表を公表します。	財政管理事業（財政管理関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 公共事業におけるチェック機能を充実させて契約の管理及び適正な検査を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
140	優良工事表彰の実施や総合評価落札方式を充実させます。 【工事検査課】	公共工事における技術水準の向上につながります。	工事成績評価における優秀な工事（75点以上）を50%にします。	工事検査事業	26	
					27	
					28	
					計	
141	入札・契約制度における適正化を図るため、公共調達のある方について検討します。 【契約課】	公共調達としての役割と機能が発揮されます。	総合評価方式を活用した政策目的追求のための評価項目を増やします。	契約事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 債権を管理及び確保し、歳入の安定と徴収の公平を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
142	関係部署と連携し、市の滞納繰越債権の完全徴収一元化を図ります。 【債権管理課】	市の歳入の徴収率向上につながります。	滞納繰越債権を縮減します。	債権管理事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆財産を管理し、有効な活用を図ります

◇ 公有財産を適正に管理し、有効な利用を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
143	防災拠点となる市役所本庁舎の建替計画を策定します。 【財産活用課】	市の防災拠点が整備されます。	建替計画を策定します。	庁舎管理事業(施設整備業務)	26	
					27	
					28	
					計	
144	松戸市が保有する未利用地の有効活用を図ります。 【財産活用課】	市有財産を活用することにより収入を確保します。	売却見込みのない土地の有償貸付を進めていきます。	財産管理事業(市有地等管理業務)	26	
					27	
					28	
					計	
145	費用対効果が最大となるように広告事業を見直します。 【財産活用課】	安定的な広告料収入が維持されます。	庁舎や公用車他市有財産を活用した広告事業の収入を確保します。	財産管理事業	26	
					27	
					28	
					計	
146	老朽化をむかえつつある公共施設の再編等を検討します。 【財産活用課】	公共施設再編のあり方を示します。	公共施設の老朽化に関する市民の意識を高めると共に、再編整備の方策を定め、基本計画の策定に取り組みます。	公共施設再編検討事業	26	
					27	
					28	
					計	
147	土地開発公社の今後のあり方を検討します。 【都市計画課、行政経営課、財政課】	財産の有効的な活用が図れます。	土地開発公社が保有する用地の処分・活用計画を策定します。	(仮称)土地開発公社検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 学校跡地を有効に活用します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
148	学校跡地の有効活用方策を検討します。 【財産活用課】	学校跡地を有効に活用します。	学校跡地の有効活用に向けた方策を定めます。	学校跡地検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

